## (5) 懇談会の様子



第1回懇談会時

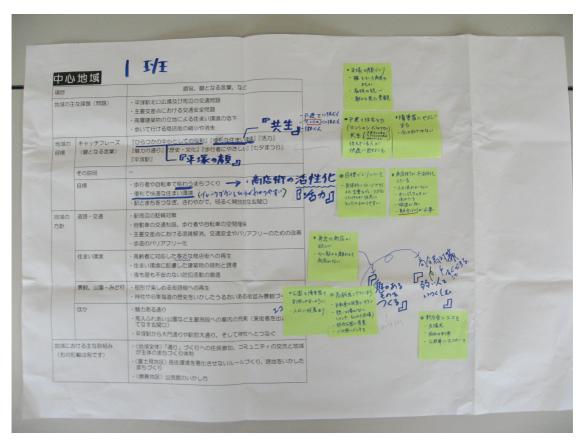


第2回懇談会時

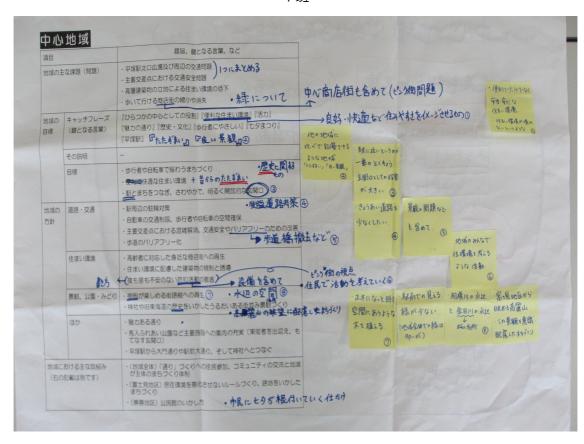


第3回懇談会時

#### (6) まとめの検討紙

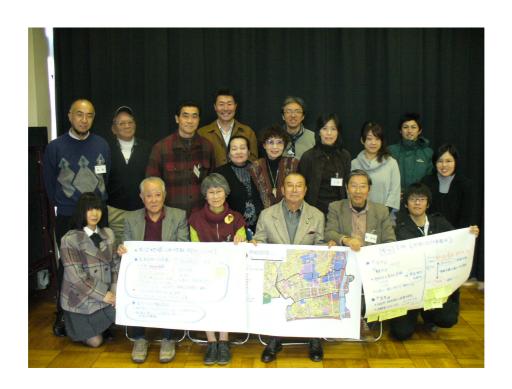


1班



2班

## (7)参加した皆さん/第3回懇談会時



# 3. 東部地域

## (1)分野別の意見

区分	意見
道路・交通	虚 見  【道路一般】 ・郡市計画道路の推進 ・東西方向の道路整備を ・生活道路への通過交通排除/カーブミラーを/車の進入を防ぐために方向規制を ・真土小前の真土金目線が渋滞 ・真土・横内間の道路が世まい ・八幡四之宮線は交通量が多いのにせまい ・銀河大橋からの道路の貫通を ・かすや道は、スピードを落とす施策 ・真土金目線の東部地域内の整備を ・災害時に緊急車両が優先して走れるようにしたら良い ・追分〜東雲橋間の渋滞がひどい/大縄橋からの道の渋滞がひどい(抜け道になっている)・平塚楽野線の渋滞がひどい ・渋田川沿い(大縄橋〜玉川橋)の道路は拡幅しないでほしい ・向原の5叉路は危険、信号を ・歩道乗り上げのはみ出し駐車(西真土 2)・幹線道路の渋滞解消  【歩道整備・改善】 ・夜間の道路照明がほしい ・歩道の途中に電柱や標識があって歩きにくい ・八幡は歩道が狭く、車いすの人が大変 ・真土のバス通りに歩道がない ・規覚障害者誘導用ブロックの破損が多い ・歩道の整備・拡幅による安全確保/歩道の有効幅員確保/歩行者・自転車の分離  【公共交通、自転車】 ・自転車利用環境の向上 ・新公共交通システムの導入 ・道路沿いの電柱は自転車に乗ると危険 ・バス停周辺の不法駐輪が多い ・公共交通利用促進の為に駐輪場を地域で管理・整備 ・自転車利用環境の整備と自転車やバスの利用促進
住まい環境	<ul> <li>【土地利用】</li> <li>・住工混在の解消が必要</li> <li>・広域農地の計画的活用(部分開発をしない)</li> <li>・葬儀場は民営のものが乱立してきて住民は困る/付近で渋滞も発生する</li> <li>【地域生活】</li> <li>・買い物できる店がだんだん減ってきている</li> <li>・学校の敷地を安全に(地盤が悪い)</li> <li>・ゴミ出し、分別がうまくできていない。自治会に入会していない世帯が多くなっている</li> <li>・地区の連携を強める/キーパーソンの存在/地域の横のつながりを大事にしたまちづくり</li> <li>・コミュニティの希薄化</li> <li>・コミュニティ活動の活性化(新住民の自治会参加促進、新旧住民や自治会同士の交流など)</li> <li>【住まい環境】</li> <li>・日枝神社周辺は、平塚で最も良い住環境</li> <li>【公共・公益施設】</li> <li>・公衆トイレが少ない/公園内にあっても数が少ない/公民館くらいにしかない</li> </ul>

区分	意  見
景観、公園・みどり	・ 真土小、桜プロムナード、銀河大橋と富土山の景観が良い/地域のにぎわいのキーに ・ 西真土4丁目の景観(総景ボイント)の保全 ・ 大原小学校北側の集合住宅、バチンコ店、工場などは、景観が悪くなっている ・ 工場の万年頃をフェンスにすべき 「みとりと水辺」 ・ 住宅が増えて緑が失われて息が詰まる ・ 工場敷地内の緑化を(昔からある工場)/緑化のために貸出/平塚市の広報に民間の緑化運動を載せて広報/工場の緑化コンクール/広場の共用化 ・ 相模川へのアプローチの整備/工場と工場の間の道路に歩道を設置し、狭い所は工場から土地の提供を受けて緑化を図るなど ・ 真土の桜のネットワークの整備/渋田川を桜でつなぐ緑の散歩道・敷地内の樹木の保全・管理 「公園、広場」 ・ 公園が少ない。子どもの遊び場の確保を ・ 達上ヶ丘に公園が少ない ・ 四之宮地区に公園を ・ これまで借りていた広場が、借りられなくなった ・ 街路樹周辺の草の手入れ/企業や住民の協力
その他	【産業、レクリエーション】  【自然環境、環境との調和】 ・渋田川と鈴川の水質改善・清流化を実現 ・渋田川を活かすべき/親水空間のあるものに 【安心安全】 ・十年前より街が明るくなり、防犯面では改善された ・大原新町地区内は最近街頭犯罪が多い ・自転車の駐輪・盗難対策/真土地区でバイクや自転車の盗難 ・国道 129 号沿いのギャンブル場は規制 ・井戸水が工場の立地で飲めなくなった/地下水の汚染問題の解決を/防災マップに平塚中の井戸の場所を示すべき ・防災資機材置き場はあるのか/消火器等の町内での整備は ・東真土地区の工場跡地の荒地がひどい/枯れ草による火災が心配

## (2) まとめ

項目		内 容
地域の主な課題(問題)		○歩行者や自転車の交通安全に問題 ○開発や宅地の細分化による地域の身近な緑地の減少 ○コミュニティの希薄化
地域の目標	キャッチフレーズの鍵となる言葉	『総合公園』『にぎやかなコミュニティ』『みどり』『渋田川・鈴川』 『バリアフリー・ユニバーサルデザイン』 『人と人とが支え合うまち』『子供にやさしいまちづくり』 『歴史』『中原街道』『中原御殿』
	キャッチフレーズ	総合公園や水辺、歴史資源などの良好な環境のなかで 人と人とが支え合う、にぎやかなコミュニティのあるまち
	目標	〇住宅と工場が交流・協力の推進による共存・融和した快適環境づくり 〇コミュニティ活動の活性化で安心のまちづくり 〇眺望や水とみどりが人と人をつなぐ、心豊かな地域づくり
地域の方針	道路・交通	<ul> <li>○幹線道路の渋滞解消</li> <li>○通過交通の生活道路への流入抑制</li> <li>○生活道路における歩行者や自転車の優先化</li> <li>○歩道の有効幅員確保、歩行者・自転車の分離</li> <li>○自転車の駐輪・盗難対策</li> <li>○公共交通利用促進の為に駐輪場を地域で整備・管理</li> <li>○自転車利用環境の整備と自転車やバスの利用促進</li> </ul>
	住まい環境	〇住工混在の解消を進めつつも、共存のための環境改善を誘導 〇コミュニティ活動の活性化(新住民の自治会参加促進、新旧住民や自治 会同士の交流など)
	景観、公園・みどり	○宅地内農地など身近なみどりの保全(手法の検討と実現) ○身近な公園や広場空間の確保とトイレの整備、その運用 ○住民との協働による工場内の緑地の保全、広場の共用化 ○敷地内の大きい樹木の保全・管理 ○宅地の細分化を防ぐルールづくりと宅地内の緑の保全 ○渋田川を桜でつなぐ緑の散歩道
	その他	○障がい者が住めるように地域をバリアフリー化